



輝きのかたち

よく晴れた空の下、広がる海。
風でゆらぐ海面に日の光が当たり、
星のように瞬いています。

人はよく、光を「★」で表しますが、
本来、光そのものに形はありません。
一体なぜ、図形で表現するのでしょうか。
それは、眼の中にある筋によって、

眼に光が入るときに回折という現象が起き、
実際に★のように見えるから、なのだそうです。
同じ星型でも、表現は人それぞれ。
筋の入り方によって形にも個性が出るのだとか。

小学5年生のときに、
「写真をモチーフに絵を描く」という
図工の授業で、海を描いた奏さん。

船を導くかのような光の道が印象的な作品です。
奏さんは、かつて見た海岸からの眺めを思い出し、
自分が目にした「輝き」をそのまま表しました。
個性が「輝く」すばらしい作品となりました。